

# ガジュマルのある保健室

～生徒も教職員も安心して利用できることを目指して～



<花言葉>

- ・健康
- ・たくさんの幸せ



京都市伏見区にある伏見中学校は、1947年に創立されました。現在の生徒数は595名です。

「ふるさと伏見を愛し、未来を拓く生徒の育成」という学校教育目標のもと、地域とのつながりを大切にしている歴史ある学校です。

保健室の中は、淡い色調でまとめられて、すっきりとシンプルな印象です。

開放的でありながら、カーテンやついたてを効果的に使用し、プライバシーに配慮しています。

保健室と職員室が近く、来室生徒の情報を学年の先生とすぐに共有して連携を図っています。生徒の困りに寄り添いながら、生徒と先生方との橋渡し役など、コーディネーター的役割を担っています。



入口付近には保健室内の説明や緊急時の対応が掲示してあり、救急セット、嘔吐物処理セット、熱中症対策セットがすぐに持ち出せるように準備してあります。緊急時に来室した教職員にすぐに必要なものがわかるようになっています。

外科的来室生徒の対応も、入ってすぐの土足スペースだけでできるようになっています。生徒は靴を脱がずに手当てを受けられます。

入口付近に必要なものがコンパクトにまとまっていて、とても機能的です。



文字では抵抗感がある「嘔吐物処理セット」の表示は、かわいいカエルのイラストです！





ついたての後ろには、ゆっくりと話せる相談スペースがあります。

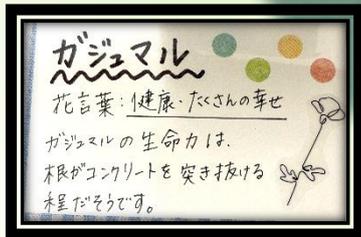
ベッドで休んでいる生徒や他の来室生徒がいる場合には、保健室の向かいの会議室で話をするもあります。



相談スペースの机の上にはガジュマルがあります。

「ガジュマルのように  
生命力を強くもち、  
健康でいてほしい」

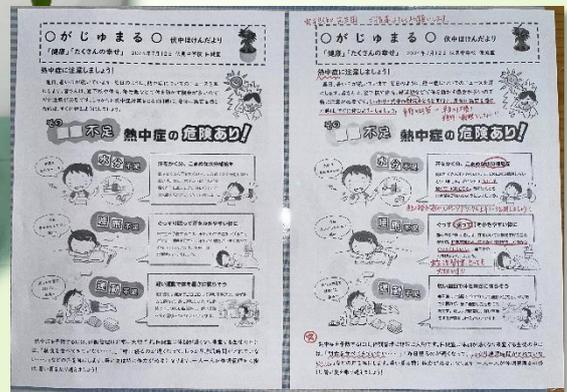
養護教諭の、生徒たちへの  
願いが込められたガジュマル  
です。



養護教諭の願いが込められた  
ほけんだより「がじゅまる」。

赤字で指導のポイントが書き  
込まれている方は担任用です。

全ての健康診断前にも発行し  
事前指導に活用しています。



職員室の入口には、教頭先生と養護教諭とが一緒に作成した  
熱中症危険レベルの掲示があります。

授業や部活動へ行く先生方が必ず確認できるようにしていま  
す。

危険レベルになると、  
職員室内側の扉に貼られ、  
危険を知らせます！



優しくあたたかい雰囲気、一人一人の生徒に  
寄り添い、きめ細やかな対応をされている  
「誰もが安心して利用できる保健室」でした！

